

第 6 回 北上市立更木小学校・二子小学校 統合検討委員会 会議要旨

日時：2026 年 7 月 29 日（水） 18:35～20:20

参加者（敬称略）： 及川和志、小原健史、堀川勇、澤田安弘、伊藤修司、石川学、澤田真、八重樫雅弘、八重樫佑介、川邊泰雄、浅野博道、小原喜芳、千田恵一、藤村隆広、澤田千恵子、川村恵壽、平野直志、北上市教育委員会教育部総務課長 嶽間澤健一郎、総務係 岩渕麻美、高橋典男

欠席者： 八重樫龍平、斎藤芳里、学校教育課長 多田義孝

会議の概要：

冒頭に委員会の成立を報告し、前回議事（資料 1）の共有と協議事項確認表（資料 1-2）を確認した。協議では、前回確認した各委員の意見を整理（資料 2）した。また、懸念点や要望について事務局から回答した。意見を集約するため、少数の意見を聞き取りし、意見を交わした。意見集約には至らなかったが、次回委員会までに各委員へ要望をアンケートするとともに、協議結果と要望を報告書案として提示し、再度協議することとした。

最後に、検討委員会だより第 5 号の方針確認と、次回（最終回予定）開催日程の調整し 8 月 19 日に確定した。

次第 2：委員長あいさつ・出席確認・担当紹介

- 委員長挨拶（澤田委員長）：
 - 協議にあたってグランドルールを再確認した。今回の目的として統合時期等の重要事項について意見集約することを確認した。「児童の最善の利益」を念頭にした協議をお願いした。
- 定足数と出席者の確認（事務局）：
 - 出席状況の報告：委員 19 名中 15 名出席（途中参加者が加わり 17 名で会議を進行）。過半数のため会議成立。

次第 3：報告(1) 前回委員会の議事内容

- 内容詳細：
 - 前回（7 月 15 日）委員会要約の読み上げと、協議事項の進捗を再確認。
 - 協議事項一覧（資料 1-2）について、使用する校舎を追記。
 - 意見等特になし。

次第 4: 協議(1) 学校統合にかかる統合時期等の重要事項について

事務局より、前回確認した各委員の意見を整理し、その内容を資料 2 にもとづいて説明した。また、委員から出された懸念点や要望について対案などを合わせて説明した。

校舎について

- 意見：二子小学校の校舎利用で一致（参加者 16 名）。教室数が十分で更木小の複式学級解消に有利。
- その他の意見：校舎見学希望、老朽化への懸念、建築物最適化計画への改修反映希望。
- 事務局対応：
 - 校舎見学は二子小と日程調整の上、委員会として実施可能。
 - 建築物最適化計画は大規模工事が対象。トイレ改修等の小規模修繕は別途担当部署が予算確保し対応する。

統合時期について

- 意見分布：2027 年度希望が多数（10 名）、2028 年度希望が複数（5 名）、交流状況によって判断するとの意見もあり（1 名）。
- 2027 年度支持理由：複式学級の早期解消、学習環境改善、児童数減少の加速（来年 20 人を切る見込み）に対応。
- 2028 年度支持理由：校名変更等の準備期間、学童統合の調整、段階的交流の必要性。
- 事務局方針案：本日の議論で実施年度を一本化し、多数意見を取りまとめつつ懸念は付帯条件として明記。
- 結論：実施年度は未決。慎重意見は 2028 年度。付帯条件付きで 2027 年度実施する方向で次回再度検討。

校名・校歌・校章について

- 意見分布：二子小のものを希望（12 名）、新しいものを希望（3 名）、いずれでも良い（1 名）。
- 二子小継続の理由：早期統合を目指す効率性、児童数の多さ。
- 新設希望の理由：統合を機に一新。児童から歌詞を公募する案。
- 配慮事項：更木小児童の希望があれば卒業式で同校校歌を歌う配慮。
- 事務局対応：二子小に確認済み。児童要望があれば学校としてできる範囲で対応。

その他

学習進度・学力支援・カリキュラム

- 更木小（複式学級）でも来年度統合を想定した授業進度調整は可能との報告。統合有無にかかわらず学力支援は通常運用で対応可能。

- 前年度末に更木小校長へ説明し、2027 年度統合にも対応できるようカリキュラムを編成すると協議済み。

児童交流の現状と強化策

- 現状：年 1 回の共同学習（高学年中心）。交流は不十分との認識。
- 過去事例：統合前に複数回の児童交流を実施。
- PTA 主導で交流会企画案。
- 結論：児童交流を行う方向性で概ね一致。具体計画は学校間での調整。

子ども・保護者・地域の意識

- 子どもの心の準備の見えにくさを懸念。昨年度のアンケートでは現 5 年生 6 人中 4 人が「友達が増えるのがいい」と回答。
- 二子保育園出身児童は既存友人関係があるケースが多いが、そうでない児童への配慮が必要。

閉校記念事業・地域調整・負担軽減

- 閉校記念事業の内容・準備は、実行委員会で決定する（閉校記念誌や記念碑の作成有無、閉校式後に行うお別れ会の内容など）。
- 教職員の負担増加への配慮を求める声。教育委員会がバックアップ予定。

学童（放課後児童クラブ）の統合見通し・運営形態

- 両学童とも統合意思を確認済み。子育て支援課が調整支援。
- 三者（両学童・子育て支援課）による次回打ち合わせを 2026 年 9 月頃に予定。
- 運営形態の違い（指定管理／委託）と料金・給与などの差異あり。
- 子育て支援課の調整案：組織統合を先行し、会計は 2～3 年で段階統合。施設は当面複数併用。利用料差等は協議で調整。
- 更木側は運營業務負担が大きく、組織統合に賛同姿勢。見通し提示で不安が一部軽減。
- 行政としては来年度学校統合となった際に学童統合が置き去りにならないよう責任もって調整することを約束。
- 結論：9 月から具体協議を行政主導で開始し、段階的統合計画と期日設定を進める方針。

会議の進め方・合意形成プロセス・付帯条件

- 全員の完全な意見集約は困難との認識を共有。少数意見や懸念などは付帯条件や要望として取りまとめる方針。
- 次回会議で結論を目指す。統合時期を 2027 年度、校名・校歌・校章を二子小学校のものとし、懸念事項（学童、児童交流等）を付帯条件や要望として明記する案を提示する。
- 取りまとめの際には、文書での意見集約を行う。要望には短期・長期の両目線があり得る（例：統合までの交流学习の実施、統合後の児童への支援など）。

- 事務局が付帯条件収集方法を検討・通知し、次回までに各委員から提出を受けて文書化・提示する。

次第 5 その他：統合検討委員会だより（第 5 号）の発行と次回日程

- 内容詳細：
 - 事務局より、統合検討委員会だより第 5 号の案を提示。
 - 今回の委員会での協議内容を反映させ、お知らせする。
 - 第 7 回統合検討委員会は 8 月 19 日（水）18:30 開催予定。付帯条件を基に議決を目指し、困難な場合は追加会議を検討。